

「人を頼ること」

鹿児島大学 農学部 生物生産

これから 私が受験を経験した上で、きっと皆さんの進路実現に役に立てると思うことを話したいと思います。まず勉強法について。私は各教科で持ち運べる要点をまとめるノートを作りました。日本史と化学は、人物名や物質など、関連のある項目で色分けなどをしました。まとめノートは女子に多いことですが、作って満足してしまうのが一番危ないです。作るのはあくまで準備段階なので、暇なときに開いたり課題を解くときに活用したりして、確実に覚えていってください。作るときに注意するのは、字を丁寧に書くことです。綺麗に書いたページの内容はよく覚えていたなと思い最近調べてみたところ、丁寧に書こうという意識によって集中力や緊張が高まり、暗記を容易にするそうです。丁寧に作ることで愛着も出て、ますます活用できると思います。けれど、懲りすぎないでください。覚えてないと思ったらどんどん書き足すようにし、順番があったとしても好きなどころから書くようにしてください。ルールを作ってしまうと、完成させる前に途中で面倒になる確率が高いです。私は、これで化学は書いたことはすべて覚えることができ、センター化学で9割を超えることができました。勉強していくと、苦手な教科が分かってきて不安になり、なにかにすがりたい思いで新しい教材を買いたくなったりします。でも、新しい教材は買わなくていいです。皆さんも知っているとおりに、猶興館の課題は多いので自分の教材までする時間はなかなかありません。実際自分は何冊か買ってしまいましたが、ほとんど使うことができませんでした。それに、出される課題は、長年受験生を受け持ってきた先生方が考えて用意してくださったものなので、それをこなしていれば十分です。でもどうしてももっと他の教材がしたい、と思ったときは、先生方に話せばいくらでもいい教材をくれると思うので、まずは相談に行ってみてください。

そして、精神面について。自分と親しい人が先に受かった時は、正直焦るし不安になります。私も精神的に強いほうではありません。私はセンター試験が終わった夜、まぶたの裏でも夢の中でも自己採点が始まりろくに眠れず、朝起きると親の前で涙が止まらずに、「落ちたらごめん」と何度も謝りました。でも万が一悪くても二次試験の配点が大きい人は十分逆転できるかもしれません。今思えば、出てもいない結果に惑わされ、勝手に落ち込んでいた時間さえももったいなかったなあと思います。絶対どこかで不安にはなります。でもすぐに悲観的にはならないでください。周りに流されないでください。

最後に、人を頼ることについて。これがなかったら、私は合格できなかったと思います。ただ頼るといっても人任せにすることではなく、聞くことを恥ずかしがらないで、ということです。授業の内容がわからなかったら、わかっている友達に聞く、先生に質問に行くことを迷わずできるようになって下さい。でもこれはまず、自分の中で精一杯悩み、答えを出すのが前提です。特に、先生方には全力で頼ってください。今、何をすればいいかわからない、ということでもその人に合った答えをちゃんと教えてくれると思います。私はとにかく、どんなに小さなことでも疑問に思ったら職員室に行き質問をしていました。二次試験が終わったとき、先生方について行ってよかったんだと心から思いました。人に教わる、話を聞くということ、それを素直に自分の中に取り込めるということは、社会に出ても重要な能力になると思います。高校は、その導いて引っ張ってってくれる先生方がたくさんいます。安心してついて行って大丈夫です。

今日話したことは、受験を経験して考えたことの本当にほんの一部ですが、なんにせよ頑張った人が必ず勝ちます。高校の受験とはレベルが違うのでなめてかからないでください。早く受験の実感を持ってください。余談ですが、センター直前に受ける北予備のプレテストは、最後に受験生を落ち込ませないように易しめに作られていると聞いたので、いい結果が出ても油断しないでください。

行きたいところに受かったら新生活がめちゃくちゃ楽しみです。では、ここにいる全員が受験成功することを祈って終わりにしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。